

学校経営方針

令和8年4月
高槻市立玉川小学校
校長 玉元 菜生子

令和8年度 高槻市立玉川小学校 学校教育目標

すてきな大人になるために
自分もまわりも 幸せにできる力をつけよう！

子どもが魅力を感じる学校	地域や保護者が魅力を感じる学校	学校の責任について
<ul style="list-style-type: none">子どもが、「学校に行きたい」、「授業がわかる」と言える。子どもが、「やってみたい」「やってよかった」と言える。子どもが、「友だち好き」「先生好き」と言える。	<ul style="list-style-type: none">子どもの笑顔がふえた。あいさつができる子どもがふえた。先生が明るく元気で、話しやすい。話がわかりやすい。話を聴いてくれる。信頼できる。	<ul style="list-style-type: none">学ぶ子どもが増え、基礎基本が定着している。いじめを許さず、不登校を生み出さない。すべての子どもに公平である。

1、安心安全の徹底、危機回避能力のある学校

- (1) 児童の生命を預かっている自覚と責任をもち、あらゆる危機を想定した準備を行う。
- (2) 学校・教室の環境整備をきちんと行う。→ 子どもたちがより良い環境で学ぶため。
- (3) 施設、備品の安全点検を行い、正しく事務処理を行う。

2、信頼できる学校

- (1) 心の安心、「先生は強い味方」と言ってもらえること。
 - ・子ども理解にとことん徹する。
 - ・個に応じた（発達段階）指導をきちんと行う。
- (2) すべての教職員が、「説明」と「丁寧な指導」が行えること。
 - ・根拠を大事にする。（決めつけや思い込みは厳禁）
 - ・各学年ブロックに副担任制を置き、バランスのとれた子ども理解と指導を行う。
- (3) すべての子どもに公平でなければならない。
- (4) まちがいを見逃さない、子どもを見捨てないこと。

3、責任が果たせる学校

- (1) 社会参画に向けた、底力（学力、人間性、心身の体力）を養える教職員であること。
 - ・わからなかったことが、わかった！
- (2) いじめ、不登校を生み出さないために、受容を大事に丁寧な指導を確実に行っていく。
 - ・生徒指導部会が軸となり、PDCA を欠かさない。
（何のために何を行っているのかを明確に！）
- (3) すべての子どもたちの学力を向上させる授業を行う。

4、教職員が力をつける学校

- (1) 責任を果たし、信頼を得るための努力を怠らない。
 - ・教科指導の専門性を高めていくこと。
 - ・玉川小学校の研究目標を達成させること。
- (2) 大人としての「安定性」を保つこと。
 - ・教育の専門家（プロ）として職場と自分を結びつけること。
 - ・集団（子ども、教職員）をまとめる公平性。
 - ・仕事を通じての意思疎通と課題の共有。
- (3) 発生したすべての事案や課題に、いち早く組織対応ができる力をつける。
 - ・隠さない、逃げない、誤魔化さない。（学校の信頼を失わないために）
- (4) 服務、職務の遂行→ 校内研修予定
 - ・教育公務員としての自覚と責任、誇りをもつ。

5、会職の形骸化（セレモニー化）にならない 学校運営協議会

- (1) 地域保護者が「学校を応援したい」と願っている想いを知ること。
- (2) リバサポを活用し、困りごとを協力に変える。
- (3) 学校運営や校区運営を自分ごととして話せること。

★教育の目的を失念しない。（忘れない）原点原則に立ち返ること。

「教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として
必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。」

教育基本法第1条

「自分の幸せだけでなく、人の幸せも考えられる、
まわりを幸せにできる力のある大人を目指した」学校づくりを丁寧に行っていきます。